

看護 みやぎ



CONTENTS

- 2 令和2年度宮城県看護協会通常総会開催を前に
- 3 新型コロナウイルス感染症と戦ってくださっている
看護職へ 日本看護協会 福井トシ子会長からの
メッセージ
- 理事会だより
- 4 特集1 令和2年度 宮城県看護協会通常総会プログラム
総会プログラム・提出議題
事業計画・資金収支予算及び収支予算
- 26 特集2 「医療機関における在宅への移行を
支援する退院支援看護職育成研修」を終えて
- 27 特集3 台風19号被害における災害支援活動を
とおして
災害支援の基礎知識と実践能力を学ぼう！
- 28 特集4 キャリアをみがく
認定看護師を紹介します
- 29 宮城看護学会第14回学術集会のご案内
2020（令和2）年度 認定看護管理者教育課程
セカンドレベル開催のお知らせ
令和元年度 かかりつけ医で働く看護職の
研修の報告とご連絡
- 30 医療安全情報レポート
わたしのとっておきリフレッシュ方法
- 31 宮城県ナースセンターからのお知らせ
「キャリナース」をご存じですか？
- 32 2020年度会員総括表・編集後記



講師の宇都宮宏子先生



「医療機関における在宅への移行を支援する退院支援看護師育成研修」



公益社団法人 宮城県看護協会

Nursing now

看護の力で健康な社会を！



令和2年度 宮城県看護協会通常総会開催を前に

公益社団法人宮城県看護協会 会長 石 井 幹 子

今年も、ケヤキの若葉の美しい季節になりました。

皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、職場でご家庭で大変なご尽力・ご苦労をいただきしておりますこと、心より敬意と感謝を申し上げます。

4月14日、村井宮城県知事から伝えられた「新型コロナウイルスに対応する医療従事者や療養中の患者及びその家族に対する風評被害根絶に向けた知事メッセージ」の中で、医療従事者に向けて「県民を代表して深く感謝する」との言葉をいただきました。個人防護用品の在庫が品薄となり、不安も大きい中でご活躍くださる看護職の皆様にひたすら感謝し、一日も早い終息を願うばかりです。

本協会でも宮城県と仙台市からの要請を受けまして、2月よりコールセンター（電話相談）に協力しております。未就業の看護職に協力を依頼して、県や仙台市の職員と共に24時間対応で活躍いただいております。入院病床を確保するために宮城県で準備いたしました軽症者の宿泊療養施設での看護も始まっています。

現在、新型コロナウイルス感染症患者の治療に多くの看護職が必要となっており、それ以外の疾患をもつ患者の看護にあたる看護職も不足しています。病院や介護施設等の医療・介護現場はもとより、さまざまな場で看護職が必要とされております。ナースセンターでは、看護職を必要としている施設とマッチングを行い、復職を支援しています。現在、就業されていない看護職の方は、可能な限り、現場への復帰やご協力をお願ひいたします。

また、新人看護職員研修をはじめとする教育計画や会議等について、4月～7月末までの多くが中止や延期を余儀なくされております。そして、例年4月に開催しておりました各支部総会も中止といたしました。支部の活動報告や活動計画案は、支部理事より理事会で報告していただき承認を得ることができましたので、ご報告いたします。

宮城県看護協会の通常総会は、公益法人として開催が義務付けられているために、規模を大幅に縮小し会場を変更して開催することになりました。感染防止の観点から、会員の皆様にお集まりいただくことはできる限り避けなければなりませんので、委任状の提出をお願いする次第です。

宮城県看護協会の令和2年度事業計画の重点事項（案）は別ページに記載の通りです。

また、令和3年の3月には東日本大震災から10年となりますので「3.11からの学び発信伝承プロジェクト（仮）」に取り組みます。その他に、災害支援に関する事業も大事ですので予定いたします。

ナイチンゲール生誕200年、看護職皆様の今のご尽力そのものが正にナイチンゲールの考える看護活動そのものではないでしょうか。

大変な状況ですが、皆様にはくれぐれも健康に留意されますように、時には笑えることもありますようにと祈念申し上げます。

新型コロナウイルス感染症と戦ってくださっている看護職へ 日本看護協会 福井トシ子会長からのメッセージ

現在は、まさに国難と言える状況です。

日夜、最前線で新型コロナウイルスと戦っている看護職の皆さんに最大限の敬意を表します。

皆さんの看護が求められています。

もちろん、自分自身の健康、安全の確保にも十分気をつけてください。

防護関連用具や衛生材料の不足に対しては、その確保について国や関係機関に強く働きかけています。

更なる看護職の確保にも、ナースセンター等において全力で取り組んでいきます。

看護職へのいわれない誹謗、中傷や差別に対しては、その不当性を広く呼び掛けています。

そして、自らの危険を顧みずに患者の治療と感染拡大の防止に奮闘している看護職のため、安全安心な職場環境と相応の処遇の実現を目指します。

2020年4月22日

日本の医療を救え

#NursingNow_いま私にできること

看護職へエールを！

Nursing now



理事会だより

令和元年度 第6回理事会

日時：令和2年1月25日（土）10時30分～14時00分
場所：宮城県看護協会会館・看護研修センター

1. 審議事項

- (1) 令和元年度補正予算（案）について
- (2) 令和2年度事業計画（案）について

2. 協議事項

- (1) 3月11日の式典出席について

3. 報告事項

- (1) 表彰推薦（日本看護協会関係）
- (2) 重点項目の進捗状況（4月～12月）
- (3) 事業報告（11月～12月）
- (4) 正会員の入会状況
- (5) 日看協第5回理事会・全国法人会報告
- (6) 職能理事報告
- (7) 支部理事報告

令和元年度 第7回理事会

日時：令和2年3月28日（土）10時30分～11時50分
場所：宮城県看護協会会館・看護研修センター

1. 審議事項

- (1) 令和2年度総会実施（案）について
- (2) 名誉会員の推薦（案）について
- (3) 令和元年度収支予算3月補正予算（案）について
- (4) 令和2年度予算（案）について
- (5) 令和2年度改選役員候補者等の推薦（案）について
- (6) 令和2年度委員会委員名簿（案）について
- (7) 規程等の改正（案）について
- (8) 令和2年度支部活動計画（案）について

2. 報告事項

- (1) 新型コロナウイルス感染症対応業務の受託
- (2) 支部総会の中止と議決事項の取扱い
- (3) 重点事項の進捗状況（4月～2月）
- (4) 事業報告（令和2年1月～2月）
- (5) 令和元年度及び令和2年度正会員の入会状況
- (6) 日本看護協会第6回理事会報告
- (7) 職能理事報告
- (8) 支部理事報告

規模縮小により開催します！

令和2年度宮城県看護協会通常総会につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う「緊急事態宣言」を踏まえ、時間短縮のうえ運営方法等も大幅に変更し「開催」いたします。

なお、会員皆様の健康と安全を考慮し、密集を避けるために、極力、参集を控えていただき、「委任状出席」による表決への委任（議決権の代理行使）で対応いただきますようお願い申し上げます。

日 時：令和2年6月20日（土）10：30～11：30

会 場：宮城県看護協会会館・看護研修センター

プログラム：10：00 開 場
10：30 開 会

物故会員への黙祷
会長挨拶

議長団選出

議事録署名人選出

提出議案審議

第1号議案 令和元年度決算（案）・監査報告
第2号議案 名誉会員の推薦（案）
第3号議案 日本看護協会代議員・予備代議員の選任
第4号議案 役員等の選任

選挙管理委員会指名

報 告 事 項 I（紙上）

理事会報告

職能委員会報告

常任委員会報告

特別委員会報告

報 告 事 項 II

令和元年度事業報告

令和2年度事業計画

令和2年度予算

11：30 閉 会

* 総会プログラム及び運営方法は、変更の場合があります。ご了承下さい。

令和2年度 通常総会 提出議題

- 第1号議案 令和元年度決算（案）・監査報告
第2号議案 名誉会員の推薦（案）
第3号議案 日本看護協会代議員・予備代議員の選任
第4号議案 役員等の選任

第1号議案

令和元年度 決算（案）・監査報告

令和元年度の決算（案）及び監査報告については、公益法人会計基準に基づき、①公益目的事業会計、②収益事業等会計、③法人会計の3つで構成されているものです。

この決算（案）の詳細については、総会前に会員施設等へ送付予定です。

第2号議案

宮城県看護協会 名誉会員の推薦（案）

協会活動に貢献し、看護事業の発展に顕著な功績があったと認められる方1名を本会の名誉会員に推薦する。

候補者名	佃 祥子	前 宮城県看護協会会长
------	------	-------------

第3号議案

令和3年度 日本看護協会代議員候補者

（氏名・所属等に間違いや変更がありましたら事務局にご連絡下さい。）

職能別	候補者名	勤務施設名	推薦支部
保健師	ほんごう 本郷 多華子	岩沼市役所	岩沼
看護師	たかしま 高島 加代	赤石病院	塩釜
看護師	あさだ 浅田 由紀恵	登米市立豊里病院	登米
准看護師	ごとう 後藤 仁美	仙石病院	石巻
看護師	おいかわ 及川 美智子	気仙沼市立病院	気仙沼
助産師	はぎはら 萩原 芳香	東北労災病院	仙台黒川
助産師	おおだいら 大平 貴子	東北大学病院	仙台北
看護師	きた 喜多 めぐみ	木町病院	仙台北
看護師	おおはら 大原 恵美	JCHO仙台南病院	仙台南
看護師	たなか 田中 直子	中嶋病院	仙台東
保健師	ささき 佐々木 秀美	登米市中田支所	理事会
助産師	うめはら 梅原 あゆみ	仙台市立病院	理事会
看護師	すずき 鈴木 信子	公益社団法人 宮城県看護協会	理事会
計	13名		

令和3年度 日本看護協会予備代議員候補者

（氏名・所属等に間違いや変更がありましたら事務局にご連絡下さい。）

職能別	候補者名	勤務施設名	推薦支部
看護師	さとう 佐藤 一弘	大泉記念病院	仙南
看護師	くりやがわ 厨川 明子	利府掖済会病院	塩釜
准看護師	かとう 加藤 京子	涌谷町医療センター	大崎
看護師	そね 曽根 勝恵	栗原中央病院	栗原
看護師	はちや 蜂谷 由香	医療法人医徳会真壁病院	石巻
保健師	くまがい 熊谷 ふみえ	仙台市泉区保健福祉センター	仙台黒川
看護師	うらやま 浦山 美輪	東北大学病院	仙台北
助産師	すがわら 菅原 ゆかり	仙台市立病院	仙台南
看護師	たかはし 高橋 修二	仙台西多賀病院	仙台南
看護師	おおとも 大友 三恵	光ヶ丘スペルマン病院	仙台東
保健師	まつの 松野 あやえ	宮城県保健福祉部精神保健推進室	理事会
助産師	もとじ 本地 真美子	県立こども病院	理事会
看護師	たかはし 高橋 ゆう子	東北医科薬科大学病院	理事会
看護師	かとう 加藤 京子	公益社団法人 宮城県看護協会	理事会
看護師	おいかわ 及川 真喜子	公益社団法人 宮城県看護協会	理事会
計	15名		

令和2年度 役員・推薦委員候補者

(氏名・所属等に間違いや変更がありましたら事務局にご連絡下さい。)

役員候補者

役職名	職能別	任期	候補者氏名	勤務施設名
副会長	保健師	2年	ささき ひでみ 佐々木 秀美	登米市役所 中田支所
副会長	看護師	2年	たきしま みき 瀧島 美紀	公立黒川病院
専務理事	保健師	2年	かりの こ 狩野 クラ子	公益社団法人 宮城県看護協会
常任理事	保健師	2年	あかも えみこ 赤間 恵美子	公益社団法人 宮城県看護協会
常任理事	看護師	2年	やまうち よりこ 山内 代里子	公益社団法人 宮城県看護協会
助産師職能理事	助産師	2年	うめはら あゆみ 梅原 あゆみ	仙台市立病院
看護師I職能理事	看護師	2年	たかはし こ 高橋 ゆう子	東北医科大学病院
支部理事(岩沼)	助産師	2年	ささき ひろみ 佐々木 浩美	スズキ記念病院
支部理事(大崎)	看護師	2年	とおやま ゆうこ 遠山 優子	大崎市民病院
支部理事(登米)	看護師	2年	あさの じゅんこ 浅野 純子	登米市民病院
支部理事(仙台北)	看護師	2年	すずき ゆみ 鈴木 由美	東北大学病院
支部理事(仙台南)	看護師	2年	いわぶち とみこ 岩渕 富美子	JR仙台病院
支部理事(仙台東)	看護師	2年	すがの ちか 菅野 千佳	東北医科大学病院
監事	看護師	2年	かとう ちえ 加藤 千恵	仙台赤十字病院
監事(看護職以外)	—	2年	くまがい まひろ 熊谷 真宏	熊谷会計事務所

推薦委員候補者

委員	職能別	任期	候補者氏名	勤務施設名
推薦委員	保健師	1年	おのでら えみこ 小野寺 恵美子	宮城県北部保健福祉事務所
推薦委員		1年	こむろ え 小室 たか恵	白石市役所
推薦委員		1年	かわむら いくこ 川村 郁子	仙台市 若林区保健福祉センター
推薦委員	助産師	1年	ちば ゆみこ 千葉 由美子	栗原中央病院
推薦委員		1年	わたなべ さなえ 渡辺 早苗	宮城厚生協会坂総合病院
推薦委員		1年	ひのと ちえ 日戸 千恵	宮城県立こども病院
推薦委員	看護師	1年	さが れいこ 佐賀 麗子	仙台市立病院
推薦委員		1年	おがた なおみ 尾形 直美	東北労災病院
推薦委員		1年	こにし かずえ 小西 和枝	仙台徳洲会病院

令和2年度 宮城県看護協会事業計画

地域包括ケア推進に向け、2040年を見据えた「地域医療計画」が策定され、地域医療構想調整会議等において圏域ごとの地域特性に応じた医療体制が具体的に検討されています。この構想に基づく病床機能の再編や在宅医療の推進に伴い、需要増大が見込まれる回復期医療や在宅医療に対応した看護職の確保・人材育成が重要な課題です。看護職には、医療機関・介護施設・在宅等の様々な領域でその専門性を生かし、県民が住み慣れた場所で安心して暮らす事を支える重要な役割が求められています。

宮城県看護協会は、このような社会情勢を踏まえ、看護職能団体として「看護の質の向上」「働き続けられる環境づくりの推進」「県民のニーズに応える看護職の役割・機能の拡大と充実を図る」の3つの使命を掲げ、定款に基づく7つの事業に取り組んできました。

令和2年度も引き続き、次の4つの重点事項を掲げ、地域包括ケアの推進に向け、職能や領域を超えた看護職の地域ネットワーク推進連携を中心に据えて、地域のあらゆる場、あらゆる人に対して看護の専門性が発揮できる人材育成や組織強化等に取り組みます。

【重点事項】

1. 地域包括ケア推進に向けた看護職連携と人材確保育成
 - 1-1 地域における職能や領域を超えた看護職連携
 - 1-2 在宅領域で働く看護職の確保・人材育成
2. 働き続けられる勤務環境改善と就労支援の推進
 - 2-1 看護職の勤務環境改善の取り組み
 - 2-2 看護職の人材確保と多様な働き方への支援
 - 2-3 関係機関との連携強化
3. 看護職の実践能力向上と役割発揮の推進
 - 3-1 各領域の看護職の機能強化に向けた取り組み
 - 3-2 認定看護師等の地域での専門性発揮への支援
 - 3-3 準看護師制度の課題解決に向けた取り組み
4. 支部機能の充実と組織拡大
 - 4-1 支部地域の看護職連携の強化に向けた取り組み
 - 4-2 会員拡大に向けた取り組みの強化

【事業計画】(定款第4条の7つの事業)

1. 県民の健康及び福祉の増進に関する事業
2. 教育並びに学術研究等の振興による看護の質の向上に関する事業
3. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進に関する事業
4. 看護業務・看護制度の改善に関する事業
5. 訪問看護・居宅介護支援その他介護保険に関する事業
6. 災害時支援に関する事業
7. その他本会の目的達成に必要な事業

重 点 事 項

重点事項 1	地域包括ケア推進に向けた看護職連携と人材確保育成
1－1 地域における職能や領域を超えた看護職連携	<ul style="list-style-type: none">1) 看護職連携による退院支援や在宅療養支援2) 切れ目のない母子保健・子育て支援
1－2 在宅領域で働く看護職の確保・人材育成	<ul style="list-style-type: none">1) 訪問看護師の確保・人材育成に向けた取り組み2) 高齢者ケア施設等で働く看護職の確保・人材育成に向けた取り組み

【事業内容等】

全世代を対象とした地域包括ケアの推進に向けて、看護職が、職能や領域を超えて連携する取り組みを行っていきます。合同職能集会や研修会等を開催し、地域の様々な領域で働く看護職同士の連携の重要性やあり方について意見交換の機会を持つ取り組みを進めます。

また、病床機能の再編や人口構造の変化が進む2040年を見据えた地域包括ケア実現のため、在宅医療を支える訪問看護師や高齢者ケア施設で働く看護職の確保と人材育成が重要なことから、引き続き、医療介護総合確保推進法に基づく基金を活用しながら県への事業提案を行い様々な課題に対応する研修事業等の取り組みを行います。

重点事項 2	働き続けられる勤務環境改善と就労支援の推進
2－1 看護職の勤務環境改善の取り組み	<ul style="list-style-type: none">1) 働きやすい勤務環境改善方策の普及啓発
2－2 看護職の人材確保と多様な働き方への支援	<ul style="list-style-type: none">1) 復職支援の取り組み強化2) 短時間労働やプラチナナース等の活用拡大
2－3 関係機関との連携強化	

【事業内容等】

看護職の勤務環境改善に向けて、引き続き、WLB推進ワークショップの開催や支部地域での研修を開催するとともに、宮城県医療勤務環境改善支援センター等の関係機関と連携し、医療職全体の勤務環境改善に向けた取り組みを進めていきます。看護管理者との連携推進を図り、WLB推進ワークショップ、勤務環境改善研修、労働と看護の質向上のためのデータベース（DiNQL）事業、届出支援システム（とどけるん）の普及等を行います。

また、看護職の離職防止・定着の推進を図るため、eナースセンターの周知啓発に力を入れ、潜在看護職の復職支援セミナーの内容の工夫やハローワークでの移動相談の機会を増やすなど充実に向けて積極的に取り組んでいきます。看護師養成校や大学への働きかけにも力を入れていきます。とどけるんについては、離職した看護職だけでなく、免許を保有していても就業していない看護職に届け出の周知徹底を図ります。

重点事項 3 看護職の実践能力向上と役割発揮の推進

3-1 各領域の看護職の機能強化に向けた取り組み

- 1) 各職能の機能強化に向けた研修等の充実
- 2) 医療機関の看護師の在宅支援機能の強化
- 3) 訪問看護・施設看護の実践力向上支援

3-2 認定看護師等の地域での専門性発揮への支援

- 1) 在宅領域における認定看護師等の積極的な人材活用
- 2) 新たな認定看護師制度の周知

3-3 准看護師制度の課題解決に向けた取り組み

- 1) 看護チームにおける安全で質の高い看護提供に向けた取り組み
- 2) 准看護師のキャリアアップに向けた取り組み

【事業内容等】

さまざまな領域で働く看護職が、その専門性を発揮し求められる役割機能を果たすことができるよう各種研修を実施します。医療機関の看護職には、在宅支援機能強化を目的とした「退院支援看護職育成研修会」を開催します。また、専門性の高い認定看護師等の人材活用が推進されるよう、高齢者ケア施設と連携し「認定看護師出前講座（仮）」の開催を企画します。新たな認定看護師制度（特定行為研修も含む）の周知も行います。

准看護師制度の課題解決に向けては、引き続き、業務のあり方の検討と進学支援の両面から取り組みます。准看護師の業務や役割上の課題を把握し、看護師・准看護師・看護補助者がお互いの役割を発揮して看護チームとして安全で質の高い看護提供ができる体制を考える研修会や意見交換等を行うなど、看護管理者とともに課題検討に向けた取り組みを進めます。その基本となる「看護チームにおける看護師・准看護師・看護補助者の業務のあり方に関するガイドライン」周知のため、昨年度の医療機関の看護管理者を対象とした研修会に加え、今年度は施設や訪問看護などの在宅領域の看護管理者も対象とした研修会を継続開催します。

准看護師のキャリアアップに向けた研修会や進学支援の情報提供等にも引き続き取り組みます。

重点事項 4 支部機能の充実と組織拡大の取り組み

4-1 支部地域の看護職連携の強化に向けた取り組み

- 1) 支部内看護職ネットワークの推進

4-2 会員拡大に向けた取り組みの強化

【事業内容等】

支部内の看護職ネットワーク会議等は、地域包括ケアの推進や災害時の協力体制を構築する目的に加え、日常業務における医療機関や施設の看護リーダーの孤立化を防ぐ取り組みとしても進めています。これまでの取り組みを継続し、顔の見える関係づくりに留まらず、地域の保健医療介護の課題を共有して協働して課題解決に取り組む機会となるよう、その支部地域に必要な連携の仕組みとして定着することを目指します。

支部機能の強化に向けては、「12支部合同会議」を開催し、協会活動の方針や12支部それぞれの活動計画について情報交換をする機会を継続開催します。また、地域の各職能の抱える課題把握や交流を目的に「出前職能集会」を開催し、支部地域の各職能の現状や課題等の意見交換をし、協会活動に反映させていきます。

入会促進に向けた取り組みとして、一層、在宅領域の施設等や非会員施設等の看護職に向けて協会活動の意義等の普及に力を入れます。また、看護学校への働きかけを強化し、ナースセンターの利用促進と併せて新規入会を増加させます。ホームページや広報誌の充実を図り看護に関する情報をタイムリーに届け、協会組織の意義と活動について普及していきます。

○その他、重要な事業として取り組むもの

1. 「3.11の学びを未来につなぐプロジェクト（仮）」設置による企画事業

平成23年3月11日に発生した東日本大震災から、令和3年3月で10年目となります。

あの時、当事者として震災を体験した看護職も現場を去り世代交代が進むことで、防災・減災に関する意識が薄れていくことが懸念されています。宮城県看護協会では、5年目に「震災フォーラム」を開催し、震災体験からの学びを未来につなぐためのメッセージを発信しました。

さらに5年が経過する今、私たち看護職一人一人または看護管理者が組織として災害への備えにどう取り組んできたかの振り返り、防災・減災につながる意識や行動等について継続的に考えることが重要と考え、プロジェクトを設置して企画の検討・実施に取り組みます。

2. 災害支援ナース育成研修受講者の増加

近年、全国で災害発生頻度が高まっており、昨年度は、宮城県内でも台風による災害があり、災害支援ナースの派遣による災害支援活動を行いました。

災害支援ナースは、発災3日目の支援から長期的な健康支援まで、被災した医療機関や避難所等において幅広い役割が求められています。

所属先施設において日常の防災・減災活動にも力を発揮する役割であることから、看護管理者と連携して災害看護や災害保健活動に関する基礎知識と技術を学ぶ看護職が増加するよう働きかけていきます。

事業計画

1. 県民の健康及び福祉の増進に関する事業（定款第4条第1項第1号）

趣旨：看護職が地域住民への健康相談や健康意識向上の普及啓発活動を通じて県民が看護についての関心を高め、理解を図ることにより、活気ある健康な社会づくりに寄与する。

事業内容

1-1) 県民に対する看護の普及活動事業

- (1) 県民に対する看護の普及活動事業
 - ① 「看護のひろば2020」の開催
 - ② ふれあい看護体験事業
 - ③ 看護の道への進路相談
 - ・県内高等学校への看護職養成校のPR
 - ④ 中学校、高等学校への看護の出前授業
 - ⑤ 進学等相談会への講師の推薦・派遣
 - ⑥ 「看護週間」事業実行委員会の開催

- (2) 県民の健康増進に関する事業
 - ① まちの保健室事業
 - ② 健康相談及び知識の普及
 - ③ 市民公開講座

2. 教育並びに学術研究等の振興による看護の質の向上に関する事業（定款第4条第1項第2号）

趣旨：保健師・助産師・看護師及び准看護師として、多様化する地域住民のヘルスケアに応え、より質の高い包括的、組織的な看護サービスを提供することが求められている。そこで、教育並びに学術研究等による看護の質の向上を通じて、県民の健康な生活の実現に寄与することを目的とする。

事業内容

2-1) 一般教育研修事業

- (1) 新人教育事業
 - ① 新人看護職員研修事業
 - ・看護師等離職防止対策事業
 - ・新人看護職員合同研修事業
 - ② 新人助産師多施設合同研修事業
 - ③ 研修責任者研修事業

- (2) ジェネラリスト教育事業
 - ① キャリア中期
 - ② 看護研究
 - ③ 老年看護

事業内容

- ④ 小児・母性看護
- ⑤ 地域看護
- ⑥ 看護実践の場で共通するもの
- ⑦ 医療安全
- ⑧ 感染管理
- ⑨ 災害看護
- ⑩ 看護倫理

(3) 看護管理・指導者研修事業

- ① 看護管理に関する研修
- ② 継続教育に関する研修
- ③ 学生指導に関する研修

2-2) 資格認定に関する事業

- (1) 認定看護管理者研修事業
 - ① ファーストレベル研修
 - ② セカンドレベル研修
 - ③ ファーストレベルフォローアップ研修
 - ④ サードレベルフォローアップ研修
 - ⑤ その他認定看護管理者教育に必要な研修

2-3) 研究活動に関する事業

- (1) 宮城看護学会学術集会
- (2) 研究に関する倫理委員会の開催

2-4) 特別企画研修事業

- (1) 職能別研修事業
 - ① 保健師職能研修
 - ② 助産師職能研修
 - ③ 看護師職能研修
 - ④ 准看護師職能研修
- (2) 医療安全研修事業
 - ① 医療安全管理者養成研修
 - ② 医療安全管理者研修と交流会
- (3) 実習指導者養成研修
- (4) 災害支援ナース育成事業
 - ① 災害支援ナース育成研修（基礎編）
 - ② 災害支援ナース育成研修（実践編）

事業内容
③ 災害支援ナース登録者フォローアップ研修
(5) 在宅看護推進研修事業【重点1・3】
① 訪問看護ステーション・医療機関の相互研修
② 訪問看護推進多職種交流研修
③ 訪問看護師育成支援研修・管理者育成研修
④ 訪問看護入門セミナー
⑤ 高齢者ケア施設の看護職に関する研修
⑥ 高齢者ケア施設の看護管理者に関する研修
⑦ 高齢者ケア施設・医療機関の相互研修
(6) 訪問看護師養成講習会(eラーニング活用)
(7) 医療機関看護職の在宅支援機能強化に向けた研修【重点3】
① 医療機関における在宅への移行を支援する看護職育成研修
(8) 看護職員認知症対応力向上研修事業【重点3】
(9) 認定看護師を対象とした研修会
(10) 高齢者施設等における認定看護師等の人材活用事業【重点3】
(11) 看護職の働き方と質向上に関する研修事業
① 働き続けるための勤務環境改善研修会
② 看護師等医療従事者の「雇用の質」向上のための研修会
(12) 潜在看護職のための復職支援研修【重点2】
(13) その他、看護職に必要とされる知識・技術の習得に関する研修
① 市民公開講座(再掲)
2-5) その他の事業
(1) 研修企画等情報の提供
① 教育計画冊子・リーフレットの配布
② ホームページでの周知
(2) 図書室利用の拡大
① 会員への新刊書籍等の周知
② 一般住民への閲覧周知

3. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進に関する事業（定款第4条第1項第3号）

趣旨：看護職が働き続けられる労働環境をつくり、離職防止・定着・潜在看護職の就業促進を図り、看護人材の確保及び看護の質の維持・向上を通じて、県民の健康な生活を実現する。

事業内容

3-1) 看護職が働き続けられる環境づくり支援事業

(1) 看護職の勤務環境改善の取り組み【重点2】

- ① ワーク・ライフ・バランスの普及・啓発
 - ・「夜勤・交代制勤務に関するガイドライン」、「勤務間インターバル制度」の普及
 - ・健康で安全な職場環境を目指した「ヘルシーワークプレイス」、「看護職の健康と安全に配慮した労働安全衛生ガイドライン」の周知啓発
- ② 労働の看護の質データベース（DiNQL）事業の周知
- ③ 組織全体で勤務環境改善に取り組む施設への支援
 - ・WLBワークショップ参加施設への支援
 - ・関係機関との連携によるワークショップ、フォローアップワークショップの開催

3-2) 宮城県ナースセンター事業【重点2】

(1) 未就業看護職への就職支援

- ① 看護職無料職業紹介所（ナースバンク）の運営
 - ・「eナースセンター」(*)の周知
 - (*) 日本看護協会のシステムを活用し、全国47都道府県ナースセンターが連携して行っている、インターネット上で求人求職登録ができる無料職業紹介サイトのこと。)
- ② 就業に関する相談・指導・情報提供
- ③ 就業支援
 - ・潜在看護職員復職支援研修
 - ・就職ガイダンスの実施
 - ・未就業者への求人情報の提供等
 - ・届出支援システム「とどけるん」の周知

(2) 看護職員需要施設調査等

- ① 退職者調査
- ② ナースバンク紹介就業者追跡調査
- ③ 新規採用看護職員募集状況調査
- ④ 看護職員需要施設調査
- ⑤ 復職支援研修受講者等の就業状況調査

(3) 訪問看護支援事業

- ① 訪問看護師養成講習会（eラーニング活用）
- ② 訪問看護に関する相談・普及

(4) ナースセンター運営事業

- ① ナースセンター事業運営協議会
- ② 日本看護協会中央ナースセンターとの連携
- ③ 東北地区のナースセンターとの連携
- ④ 関係機関との連携

4. 看護業務・看護制度の改善に関する事業（定款第4条第1項第4号）

趣旨：看護業務・看護制度の改善により、保健師・助産師・看護師及び准看護師の専門性を發揮させることによって、看護の質の向上を図り、県民のニーズに応え、県民の健康な生活の実現に寄与する。

事業内容

4-1) 看護制度に関する事業

(1) 看護教育の改革の検討・提言

- ① 3職能委員会での検討

(2) 准看護師制度問題の解決に向けた活動【重点3】

- ① 准看護師の業務に関する検討委員会の開催
- ② 准看護師に関する看護管理者等との連携
 - ・「看護チームにおける看護師・准看護師・看護補助者の業務のあり方に関するガイドライン」の周知等
- ③ 准看護師へのキャリアアップ支援

(3) その他、看護制度・看護教育等に関する事業

4-2) 保健師・助産師・看護師等の職能に関する事業

(1) 保健師の専門性を發揮するための基盤整備の推進

- ① 保健師職能集会
- ② 支部保健師職能委員との合同委員会
- ③ 保健師に必要な研修等を通しての課題抽出

(2) 助産師による安全・安心な出産環境提供の整備とキャリア促進に関する事業

- ① 助産師職能集会
- ② 支部助産師職能委員との合同委員会
- ③ 産科関連施設管理者研修と情報交換会を通しての課題抽出
- ④ 助産実践能力強化支援研修

(3) 看護師職能I 病院で働く看護職を取り巻く状況に応じた役割機能の推進

- ① 看護師職能I集会
- ② 支部看護師職能委員との合同委員会
- ③ 看護師職能集会と出前職能集会を通しての課題抽出

(4) 看護師職能II 在宅領域における看護の連携・協働の推進

- ① 看護師職能II集会
- ② 支部看護師職能委員との合同委員会
- ③ 高齢者施設で働く看護管理者・看護職の研修を通しての課題抽出
- ④ 看護師職能II分野の会員拡大のための広報活動

(5) その他、職能や領域を超えた看護職の連携に関する事業

5. 訪問看護・居宅介護支援その他介護保険に関する事業（定款第4条第1項第5号）

趣旨：人々の健康な生活の実現のため、地域に密着した訪問看護・居宅介護支援事業等を行い、在宅療養支援を推進する。また、県内の行政、医師会などの関係機関と連携し、在宅医療、訪問看護の推進に努め、もって県民の健康な生活の実現に寄与する。

事業内容

5-1) 協会立訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所等の運営に関する事業

- (1) 訪問看護事業の実施
- (2) 居宅介護支援事業の実施
- (3) 看護職連携・他職種連携の推進
- (4) 訪問看護の啓発活動
- (5) 在宅医療推進に向けた看護職・学生等への教育支援
 - ① 医学生・看護学生への実習指導、看護師等の研修受入れ
 - ② 看護教育機関、医療機関、高齢者介護施設等への講師派遣

5-2) 訪問看護の推進に関する事業【重点1】

- (1) 訪問看護・在宅医療の推進に関する事業
 - ① 訪問看護推進協議会等
 - ② 訪問看護ステーション・医療機関看護師の相互研修（再掲）
 - ③ 訪問看護啓発のための研修会等の開催（再掲）
 - ④ 県内訪問看護ステーションへの運営支援
- (2) 訪問看護師の人材確保・資質向上に関する事業
 - ① 訪問看護師育成支援研修・管理者育成事業（再掲）
 - ② 新卒・新人訪問看護師育成プログラムの周知と育成支援
 - ③ 訪問看護入門セミナー（再掲）

6. 災害時支援に関する事業（定款第4条第1項第6号）

趣旨：災害に対する備えをして県民を災害から守るとともに、大規模災害が発生した場合には、速やかに当該災害に関する情報を収集し、被災地のニーズを把握したうえで支援活動を実施し、被災者の健康な生活を実現する。

事業内容

6-1) 災害時の支援活動に関する事業

- (1) 災害支援ナースの育成事業
 - ① 災害支援ナース育成研修（基礎編）（再掲）
 - ② 災害支援ナース育成研修（実践編）（再掲）

事業内容
③ 災害支援ナース登録者フォローアップ研修（再掲）
④ 災害支援ナース交流会の開催と支援
6－2) 東日本大震災復興支援
(1) 被災者健康支援
① 気仙沼市被災者健康支援（まちの保健室事業）
② 石巻市被災者健康支援（まちの保健室事業）
③ 仙台市被災者健康支援（まちの保健室事業）
6－3) 防災・減災に向けた東日本大震災からの学びの発信と継承
① 東日本大震災10周年事業
「3.11の学びを未来につなぐプロジェクト（仮）」による取り組み
② 広報活動
③ 研修等
6－4) その他、災害に関する事業

7. その他本会の目的達成に必要な事業（定款第4条第1項第7号）

趣旨：本会の組織基盤の充実強化や組織目的の発展を図る。

事業内容
7－1) 渉外に関する事業
(1) 表彰推薦
(2) 他機関の審議会委員等の推薦
7－2) 広報に関する事業【重点4】
(1) ホームページの充実
(2) 会報「看護みやぎ」の発行
(3) 県民向け広報誌「Kangoのひろば」発行
(4) その他、取材依頼への協力等、広報に関すること
7－3) 会員支援に関する事業【重点4】
(1) ナースシップ「会員情報管理体制」の周知
(2) 会員の福利厚生の充実

事業内容

7-4) 関係機関との連携強化に関する事業

- (1) 政策提言及び県、市町村、関係団体等との連携促進

7-5) その他、組織運営に関する事項

- (1) 諸会議の円滑な運営
 - ① 通常総会
 - ② 理事会
 - ④ 常任理事会
 - ⑤ 各委員会（職能委員会・常任委員会・特別委員会）
- (2) 支部活動との連携強化【重点4】
- (3) 支部内看護職のネットワーク強化【重点4】

令和2年度資金収支予算及び収支予算について

1. 平成20年度公益法人会計基準の適用

(1) 公益法人会計基準（平成20年基準平成20年12月1日施行）に基づき作成しています。

2. 予算書の構成

(1) 公益社団法人として作成が必要となるのは「損益ベース」の収支予算書だけとなり、資金収支予算書の作成は任意とされました。

(2) しかし、本協会が公益法人として健全な維持・存続を確保するための予算管理の手段としては、従前作成の資金収支予算書が引き続き有効であることから、令和2年度予算についても、法令で必要となる収支予算書のほか、資金収支予算書との2式で構成しています。

3. 令和2年度の予算の会計区分

(1) 会計区分は、①公益目的事業に関する会計（公益目的事業会計）、②会員の支援のための共益事業等に関する会計（収益事業等会計）、③管理業務や法人全般に関する会計（法人会計）に区分しています。

(2) 公益目的事業会計は、定款第4条に定める7事業とそれらに共通する公益目的事業共通を合わせた8区分に整理しています。

4. 予算の概要

(1) 資金収支予算

事業活動収入は、対前年比955万円減の6億8,888万円、事業活動支出は、対前年比636万円減の7億372万円となっています。

(2) 収支予算

経常費用7億5,684万円のうち、公益目的事業会計が6億9,416万円（91.7%）、収益事業等会計が699万円（0.9%）、法人会計が5,568万円（7.4%）となっています。

5. 「公益法人会計基準」の適合性

令和2年度予算は、「平成20年基準」の三基準に適合する内容となっています。

(1) 公益目的事業に係る収入が、その実施に要する適正な費用を賄う額を超えること。

（収支相償の原則）

(2) 公益目的事業に係る収入が、全事業の50%以上と見込まれること。（50%ルール）

(3) 公益目的事業の額を超えて遊休財産（具体的な使途が定まっていない財産）を保有してはならないこと。（遊休財産保有制限）

令和2年度 資金収支予算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

単位：千円

科 目	当年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
特定資産運用収入	37	32	5	
特定資産利息収入	37	32	5	
会 費 収 入	103,700	102,900	800	
入会金収入	4,500	4,500	0	新会員数900名
会費収入	99,200	98,400	800	会員数12,400名
事 業 収 入	477,284	467,759	9,525	
受講料収入	29,258	25,185	4,073	研修受講料
訪問看護事業収入	419,745	416,637	3,108	
介護予防訪問看護事業収入	17,720	17,208	512	
居宅介護支援事業収入	10,561	8,729	1,832	
受託事業収入	84,722	99,626	△14,904	
ナースセンター事業収入	29,640	29,372	268	宮城県
日看協事務収入	2,200	2,140	60	日本看護協会
訪問看護推進事業収入	12,000	11,983	17	宮城県
実習指導者講習会（特定分野）事業収入	3,630	3,631	△1	宮城県
看護師離職防止対策事業収入	1,018	1,019	△1	仙台市
仮設住宅入居者等健康管理・支援事業収入（仙台市）	7,169	18,997	△11,828	仙台市
災害公営住宅入居者等健康相談事業収入（南三陸町）	0	2,406	△2,406	
被災者健康づくり支援業務収入（気仙沼市）	2,447	1,947	500	気仙沼市
まちの保健室事業収入（石巻市）	10,933	9,401	1,532	石巻市
学生実習等指導収入	2,291	2,679	△388	
看護職員確保研修事業収入	2,662	2,662	0	宮城県
看護職員認知症対応力向上研修事業収入	3,454	3,687	△233	宮城県・仙台市
公衆衛生看護管理研修事業収入	0	352	△352	
潜在看護復職研修事業収入	1,215	1,216	△1	宮城県
看護職員就労環境改善事業収入	1,309	1,309	0	宮城県
助産師出向コーディネイト事業収入	429	429	0	宮城県
新人助産師多施設合同研修事業収入	1,025	1,026	△1	宮城県
新型感染症相談対応業務収入	3,300	5,370	△2,070	宮城県・仙台市
補助金等収入	19,448	21,734	△2,286	
日看協助成金収入	8,500	8,476	24	日本看護協会
地域医療介護総合確保事業補助金収入	10,948	13,258	△2,310	宮城県（8事業）
寄付金等収入	900	3,600	△2,700	
寄付金収入	900	3,600	△2,700	
雑 収 入	2,795	2,793	2	
受取利息収入	15	14	1	
雑収入	2,780	2,779	1	
事 業 活 動 収 入 計	688,886	698,444	△9,558	

※ 前年度予算額欄は第7回理事会（令和2年3月28日）で承認された第2次補正後予算額を計上

科 目	当年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
2. 事業活動支出				
事業費支出	654,150	660,135	△5,985	
役員報酬支出	18,959	19,537	△578	役員報酬
給料手当支出	357,201	355,228	1,973	職員給与手当
賃金支出	28,488	38,387	△9,899	臨時職員賃金
退職給付費支出	11,934	12,534	△600	中退金掛金
法定福利費支出	54,835	57,428	△2,593	社会保険・労働保険料
福利厚生費支出	2,199	2,210	△11	役員・職員健康診断料
旅費交通費支出	10,408	10,613	△205	
会議費支出	101	209	△108	会議関係費
通信運搬費支出	16,715	14,182	2,533	
備品費支出	680	725	△45	
消耗品費支出	14,993	13,083	1,910	
修繕費支出	3,559	7,732	△4,173	施設・機器保守維持費等
印刷製本費支出	11,449	8,481	2,968	
車両費支出	21,378	21,746	△368	車両リース料・ガソリン代
光熱水費支出	9,026	8,526	500	
賃借料支出	25,180	23,369	1,811	施設・事務機器借用料等
保険料支出	3,725	3,326	399	火災保険・傷害保険料等
諸謝金支出	27,247	26,636	611	講師謝金・旅費等
租税公課支出	13,727	12,404	1,323	消費税・固定資産税等
支払負担金支出	461	527	△66	
委託費支出	13,237	11,813	1,424	施設保守委託費等
研修費支出	2,199	1,774	425	
雑費支出	6,449	9,665	△3,216	
管理費支出	49,573	49,956	△383	
役員報酬支出	7,660	7,650	10	役員報酬
給料手当支出	12,000	12,633	△633	職員給与手当
賃金支出	0	0	0	臨時職員賃金
退職給付費支出	1,200	1,200	0	中退金掛金
法定福利費支出	2,600	2,922	△322	社会保険・労働保険料
福利厚生費支出	200	500	△300	役員・職員健康診断料
旅費交通費支出	6,739	7,207	△468	
会議費支出	1,553	1,702	△149	会議関係費
通信運搬費支出	1,232	1,249	△17	
備品費支出	350	100	250	
消耗品費支出	2,416	1,665	751	
修繕費支出	1,000	450	550	施設・機器保守維持費等
印刷製本費支出	1,586	1,328	258	
車両費支出	0	0	0	
光熱水費支出	800	800	0	
賃借料支出	1,100	1,150	△50	施設・事務機器借用料
保険料支出	1,000	900	100	火災保険・傷害保険料等
諸謝金支出	1,820	1,800	20	講師謝金・旅費等
租税公課支出	3,000	3,000	0	消費税・固定資産税等
支払負担金支出	500	400	100	
委託費支出	2,000	2,400	△400	施設保守委託費等
研修費支出	0	0	0	
雑費支出	817	900	△83	
事 業 活 動 支 出 計	703,723	710,091	△6,368	
法 人 税 等 支 出			0	
事 業 活 動 収 支 差 額	△14,837	△11,647	△3,190	

単位：千円

科 目	当年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
会館維持管理負担金収入	9,000	9,000	0	会館維持管理負担金
特定資産取崩収入	22,000	3,002	18,998	
什器備品償却引当資産取崩収入	0	902	△902	
建物償却引当資産取崩収入	20,000	0	20,000	会館修繕等積立取崩額
退職給付引当資産取崩収入	2,000	2,100	△100	職員退職積立取崩額
その他投資活動収入	0	0	0	
投 資 活 動 収 入 計	31,000	12,002	18,998	
2. 投資活動支出				
特定資産取得支出	27,602	30,118	△2,516	
長期前払費用支出	0	0	0	
建物償却引当資産支出	0	2,000	△2,000	
什器備品償却引当資産支出	0	100	△100	
建物設備整備引当資産支出	1,000	1,000	0	会館修繕等積立額
固定資産取得引当資産支出	15,000	15,000	0	会館建替等積立額
災害積立資産支出	2	1	1	
会館維持管理費積立資産支出	9,000	9,000	0	会館維持管理等積立額
役員退職引当資産支出	500	500	0	役員退職手当積立額
訪問看護引当資産支出	2,100	2,517	△417	職員退職給付積立額
固定資産取得支出	3,500	9,450	△5,950	
建物附属設備取得支出	3,500	0	3,500	会館内一部改修工事
什器備品取得支出	0	9,450	△9,450	
投 資 活 動 支 出 計	31,102	39,568	△8,466	
投 資 活 動 収 支 差 額	△102	△27,566	27,464	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入			0	
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
当 期 収 支 差 額	19,722	19,660	62	
前 期 繰 越 収 支 差 額	△34,661	△58,873	24,212	
次 期 繰 越 収 支 差 額	251,049	311,667	△60,618	
	216,388	252,794	△36,406	

令和2年度 収支予算書内訳表

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

単位：千円

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法 人 会 計	内部取引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
特定資産運用益	12	0	25	0	37
特定資産受取利息	12		25		37
受取会費	46,665	5,185	51,850	0	103,700
受取入会金	2,025	225	2,250		4,500
受取会費	44,640	4,960	49,600		99,200
事業収益	477,284	0	0	0	477,284
受講料収益	29,258				29,258
訪問看護事業収益	419,745				419,745
介護予防訪問看護事業収益	17,720				17,720
居宅介護支援事業収益	10,561				10,561
受託事業収益	82,522	2,200	0	0	84,722
ナースセンター事業収益	29,640				29,640
日看協事務収益	0	2,200			2,200
訪問看護推進事業収益	12,000				12,000
実習指導者講習会（特定分野）事業収益	3,630				3,630
看護師離職防止対策事業収益	1,018				1,018
仮設住宅入居者等健康管理・支援事業収益（仙台市）	7,169				7,169
被災者健康づくり支援業務収益（気仙沼市）	2,447				2,447
まちの保健室事業収益（石巻市）	10,933				10,933
学生実習等指導収益	2,291				2,291
看護職員確保研修事業収益	2,662				2,662
看護職員認知症対応力向上研修事業収益	3,454				3,454
公衆衛生看護管理研修事業収益	0				0
潜在看護復職研修事業収益	1,215				1,215
看護職員就労環境改善事業収益	1,309				1,309
助産師出向コーディネイト事業収益	429				429
新人助産師多施設合同研修事業収益	1,025				1,025
新型感染症相談対応業務収益	3,300				3,300
受取補助金等	27,839	0	166	0	28,005
日看協助成金収益	8,500				8,500
地域医療介護総合確保事業補助金収益	10,948				10,948
受取補助金振替額	8,391		166		8,557
受取負担金	2,022	0	1,199	0	3,221
受取負担金振替額	2,022		1,199		3,221
受取寄付金	998	0	58	0	1,056
受取寄付金	900				900
受取寄付金振替額	98		58		156
雑収益	2,690	0	105	0	2,795
受取利息	10		5		15
雑収益	2,680		100		2,780
経 常 収 益 計	640,032	7,385	53,403	0	700,820

単位：千円

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法 人 会 計	内部取引消去	合 計
(2) 経常費用					
事業費	694,164	6,996	0	0	701,160
役員報酬	17,395	0			17,395
給料手当	334,888	220			335,108
賃金	28,488	0			28,488
退職給付費用	11,934	0			11,934
賞与引当金繰入額	27,589	0			27,589
法定福利費	51,182	40			51,222
福利厚生費	2,199	0			2,199
旅費交通費	9,908	500			10,408
会議費	101	0			101
通信運搬費	15,620	1,095			16,715
減価償却費	46,691	0			46,691
備品費	680	0			680
消耗品費	14,913	80			14,993
修繕費	3,559	0			3,559
印刷製本費	7,474	3,975			11,449
車両費	21,378	0			21,378
光熱水費	9,026	0			9,026
賃借料	25,180	0			25,180
保険料	3,725	0			3,725
諸謝金	27,194	53			27,247
租税公課	13,377	350			13,727
支払負担金	461	0			461
委託費	12,587	650			13,237
研修費	2,199	0			2,199
雑費	6,416	33			6,449
管理費	0	0	55,685		55,685
役員報酬			7,131		7,131
給料手当			11,029		11,029
賃金			0		0
退職給付費用			1,200		1,200
賞与引当金繰入額			1,700		1,700
法定福利費			2,362		2,362
福利厚生費			200		200
旅費交通費			6,739		6,739
会議費			1,553		1,553
通信運搬費			1,232		1,232
減価償却費			6,150		6,150
備品費			350		350
消耗品費			2,416		2,416
修繕費			1,000		1,000
印刷製本費			1,586		1,586
車両費			0		0
光熱水費			800		800
賃借料			1,100		1,100
保険料			1,000		1,000
諸謝金			1,820		1,820
租税公課			3,000		3,000
支払負担金			500		500
委託費			2,000		2,000
研修費			0		0
雑費			817		817
経 常 費 用 計	694,164	6,996	55,685	0	756,845
当 期 経 常 増 減 額	△54,132	389	△2,282	0	△56,025

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法 人 会 計	内部取引消去	合 計
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					0
固定資産受贈益					0
経 常 外 収 益 計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					0
固定資産除却損					0
経 常 外 費 用 計	0	0	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0	0	0
他 会 計 振 替 額	200	△200			0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△53,932	189	△2,282	0	△56,025
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	1,464,073	14,088	281,158		1,759,319
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	1,410,141	14,277	278,876	0	1,703,294
II 指定正味財産増減の部					
受取補助金等	0	0	0	0	0
受取補助金	0	0			0
受取負担金等	5,649	0	3,351	0	9,000
受取負担金	5,649		3,351		9,000
一般正味財産への振替額	△10,511	0	△1,423	0	△11,934
受取補助金振替額	△8,391		△166		△8,557
受取負担金振替額	△2,022		△1,199		△3,221
受取寄付金振替額	△98		△58		△156
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	△4,862	0	1,928	0	△2,934
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	216,307		83,585		299,892
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	211,445	0	85,513	0	296,958
III 正味財産期末残高	1,621,586	14,277	364,389	0	2,000,252

令和 2 年度資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類

(1) 資金調達の見込みについて

借入れの見込み		<input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし
事業番号	借入先	金額	

(2) 設備投資の見込みについて

設備投資の見込み		<input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の見込額	資金調達方法又は取得資金の使途
公 1	会館内一部改修工事	3,500,000円	自己資金

「医療機関における在宅への移行を支援する 退院支援看護職育成研修」を終えて

宮城県看護協会では、「患者の個別性を考慮した生活支援を行う看護の視点を養うと共に、患者の在宅移行支援が提供できる能力を養う」ことを目的に、本協会として初めて企画した研修が終了しました。以下概要です。



宇都宮宏子先生
在宅ケア移行支援研究所
宇都宮宏子オフィス代表

受講生 43名 35施設

講義 1月27日（月）～2月1日（土）・2月28日（金）

の7日間

実習 訪問看護ステーション実習

2月3日（月）～2月25日（火）の間に2日間／1人

実習場 21施設の訪問看護ステーション



横道弘直先生
公立黒川病院
地域医療センター長

宇都宮宏子先生をはじめ講師の方々のエネルギーで迫力ある講義を受け、誰のための在宅支援なのか、「切れ目のない看護」とするためにはどんな支援が必要なのかなど、改めて考えることができた有意義な研修でした。また、グループワークを取り入れた講義が多くあり、顔の見える関係づくり・連携するための仲間づくりができました。

実習施設としてご協力をいただいた訪問看護ステーションの方々の感想としては、「病院の看護師さんが退院後の様子を気にかけていることを知り結果の報告・フィードバックをしたいと考えた」「退院にあたりどのような家族指導をしていただければよいか知ってもらうことができたと思う。ステーションとしても病院との連携を強化していきたい」など病院と訪問看護の相互の情報交換の場・お互いの看護を見直す機会になったという嬉しい感想もありました。

2月28日（金）の講義では、それぞれのグループで、意見交換をしながら退院支援における現状の課題を挙げ、目標を立案しました。そして、評価までを盛り込んだ研修プログラムを作成しました。今後、そのプログラムを参考に自施設において受講生がそれぞれの立場で課題・目標を作成し退院支援に活かしてくれていると期待しております。皆様お疲れ様でした。



地域包括ケアシステム実現へ向けてのグループワーク



退院支援看護師としてのアクションプラン作成と発表



受講者の声

大崎市民病院 戸村 千久沙

今回の研修で訪問看護実習を通して、利用者さんの選択した場所で生活する姿を目の当たりにし、改めて看護の原点に立った想いでした。

私達看護師が多職種と信頼関係を築き、つながりを持つことが利用者さんとその家族の幸せにつながると感じます。

地域を見つめる機会を、これから多くのスタッフに体感していただきたいと思います。

仙塩総合病院 奈良 真実子

今回の研修で最も印象に残ったのは訪問看護ステーションでの実習です。学生時代にもステーションでの実習はありましたが、自分が病棟看護師として働いてからの実習では学生時代には無かった視点から新たな学びと気付きがありました。院内と在宅での違いについて治療を支える看護と生活を支える看護の視点が学べたので、退院支援に活かせるとても充実した研修だったと感じています。今回の研修に限らず、病棟看護師が訪問看護の実際を学ぶ機会が沢山あっても良いと思いました。

台風19号被害における 災害支援ナースとしての活動

大崎市民病院 高 橋 靖 譲

私は宮城県看護協会より委嘱された災害支援委員になったことをきっかけに災害支援ナースを目指しました。既に災害支援ナースとして活動経験のある災害支援委員のご指導の下、一から災害支援ナースの役割や心構えを学び、共に研修を企画・運営することで災害支援ナースになりたいと強く感じ、2018年5月災害支援ナースに登録しました。

昨年、台風19号において宮城県も甚大な被害が出ました。私は宮城県看護協会からの派遣要請を受け、災害支援ナースとして初めて活動させていただきました。活動場所としては大郷町と大崎市鹿島台の避難所にそれぞれ2泊3日で支援に入りました。大郷町では町の保健師のサポートを中心に、被災者の健康調査や外傷処置、感染症予防を目的とした手指衛生の啓発、食事場所やトイレの清掃、夜間の巡回を行いました。また、鹿島台では被災者の健康相談、手洗い場や玄関の整備、憩いのスペースの作成、被災者と共にラジオ体操も行いました。いずれの活動も、地域の診療所の医師、DMAT、DWAT、町・市・県の保健師や役所の職員など多種多様な職種が連携し、支援を行いました。

被災者は自宅の片づけに追われながら、今後の生活へ不安を抱き、心身共に疲れていました。そのため、上記以外の活動に加え、被災者の側に寄り添い、辛い思いに耳を傾けました。その関わりの中で、被災者の笑顔や前向きな発言に触れることができ、支援者としての喜びも感じることができました。

限られた資源の中で行う看護は考える力を育み、被災者の笑顔に勇気を貰えます。より多くの方々と支援活動の喜びや苦労を共感したいと考えていますので、興味のある方は一緒に災害支援ナースとして活動しましょう。

「看護のものさし」を備え、 被災者的心身を支えられるように

東北医科薬科大学病院 伊 藤 奈々江

災害支援ナースを目指したきっかけは、東日本大震災の経験です。目前の患者対応に追われ、病院機能が少しづつ回復するにつれて「私は何ができるんだろう」という不全感を感じました。震災翌年から宮城県看護協会の災害支援委員を担い、災害支援ナースの存在を知りました。マニュアルや研修内容を検討し、災害看護の知見を積み重ねることで「被災者のために看護師としてできることをしよう」という考えに変わり、災害支援ナースに登録しました。

初の派遣は昨年10月に起きた台風19号被害です。第2班として10月20日から2泊3日、57名が避難する丸森小学校の体育館に開設された避難所における夜間支援を2名の災害支援ナースで担当しました。日中に支援活動を行う仙台市保健師やTMATなどの保健医療支援チームと情報を共有し、持病がある方の健康チェックや転倒リスクが高い高齢者の夜間トイレ歩行時の見守り、断水や粉塵による感染症発生を防ぐため、蛇口付きポリタンクを使用した流水での手洗いやマスク装着の指導、避難者の方々と床や下駄箱、トイレの清掃などを行いました。

支援活動で印象にあることは、1人暮らしの高齢男性との関わりです。長年暮らした自宅や地域の被害について話され、傾聴しかできないもどかしさがありました。しかし、その関わりを見つめ直すと、辛い思いを話したくなった時に少しではありますが、耳を傾けてくれる人として関わられたのではと考えます。

災害は特別なことのように捉えられますが、災害看護の本質は平時の看護と変わらないと考えます。平時から看護のものさしとなる知識と技術を備えて自己の糧とし、災害時に被災者の心身を支える災害支援ナースに皆さんも目指してみませんか。



丸森小学校避難所



トイレそばの手洗い場

ラップポントイレ
(ポータブルトイレ)

災害支援の基礎知識と実践能力を学ぼう！

東日本大震災から丸9年が経過し、近年水害等による災害が各地で発生している中で、自己の防災はもちろんですが、災害が発生した時の災害支援ナースによる支援活動も重要な役割にもなっています。被災県である当協会では、災害発生時の県内外での支援活動はもちろんのこと、①平時からの自施設での防災・減災への備えに力量発揮が期待できるここと、②災害支援の基礎的知識を持つ看護職の人材育成とネットワークづくりが重要と考えています。

○基礎編

災害支援ナースの第1歩～災害看護の基礎的知識～（2日間）
開催日は決定したいお知らせします

○実践編

災害支援ナース育成研修（1日）
9月～10月予定

※基礎編と実践編を受講した方は、災害支援ナースに登録できます。（詳しくは、宮城県看護協会ホームページ災害支援ナースをご覧ください）

認定看護師を紹介します

認定看護師



脳卒中リハビリテーション認定看護師

医療法人脳健会
仙台リハビリテーション病院

佐藤佐緒里さん

しています。また勉強会は他職種の参加を呼びかけ、病院全体の知識の向上を図っています。今後の課題は東北脳神経看護学会との繋がりを持ち、地域で問題を共有し再発防止・予防に向けた支援を行うことです。

仕事をしながら認定看護師を目指す為には様々なサポートが必要です。何よりも一步踏み出すには自分自身の葛藤もあり、私自身も迷いました。しかし飛び込んだ先にある出会いや知識は自分の看護に大きな財産となりました。まず一步踏み出し、大切な何かを見つけてみてください。

多職種連携で支える看護

私の所属する回復期病棟の患者さんの多くは、脳卒中により身体的な変化と高次脳機能障害を抱え、生活変化だけでなく介護の必要性など多くの問題を抱えています。そのため入院中から退院後の生活を見据えた患者さんや家族への退院支援が必要であり、経験値だけではなく知識とエビデンスに基づいた看護を行う必要性を強く感じ認定看護師を目指しました。

回復期の看護は多職種との連携が重要で、障害の改善や生活再建を目指し、それぞれの専門職が情報共有し同じ目標に向かって専門性を発揮したチームアプローチを行います。

看護師は患者さんと家族の意思決定を尊重し必要なケアと各部門との懸け橋的な存在となりケアを行います。そのため認定看護師の役割としてスタッフの知識の底上げを目標に勉強会を開催しジェネラリストの育成を目指す



瞬時を逃さずカンファレンス

認定看護師

手術看護認定看護師
大崎市民病院

今野 雄介さん

の脱水予防と輸液管理のポイントについて講義を行い、問題点の共有を図りました。

私が大切にしていることは、患者が安心して手術に臨み、患者の持つニーズに応えるということです。特に手術中は患者の擁護者となり、患者の安全を担保しなければなりません。今後も手術看護の質向上を図ることに加え、出前講座などを通じて病棟や外来との連携を密にできるよう、活動を続けて行きたいと考えています。

皆さんも仕事に対しての思いや、なりたい自分を考えることが、新しい道を踏み出す一歩につながるのではないかと思います。

患者さんが安心して手術に臨めるように

手術看護との出会いは看護師3年目の手術室への異動がきっかけでした。専門性の高い分野であり、不安を感じていましたが、経験を積むことで器械出しや外回り看護に、やりがいを感じることができました。そんな時、他施設の手術看護認定看護師の活動について話を聞く機会があり、自分も専門知識と技術を深めることで、より患者の安心と安全に貢献できるのではないかと考え認定看護師を目指しました。

手術看護には手術創以外の二次的合併症を発生させないという目的があります。資格取得後の活動として、周術期合併症を予防するために実践モデルとして看護を提供し、スタッフに対して勉強会の実施や指導を行っています。また、近年では安全な手術を提供するためにチーム医療や多職種連携が重要視され、活動の一つとして病棟へ出前講座を行っています。最近では入室前



手術室での研修の様子

宮城看護学会第14回学術集会のご案内

宮城看護学会の概要が決まりましたのでご案内します。

皆様からの演題の申込・参加をお待ちしております。なお、演題は「看護・看護教育に関する研究」または「看護実践報告」を受け付けておりますので、是非多くの皆様に応募していただきたいと思います。

申込方法については、各施設にお送りしている要項またはホームページをご覧ください。
プログラムは9月にホームページでお知らせする予定です。

開催概要 テーマ 「医療の現場で行う意思決定支援」

【内容】 ●特別講演 「医療の現場で行う意思決定支援」

－大切な場面で意思決定支援をしていますか－

千葉 恵子氏（亀田医療大学大学院 看護学研究科）

●看護研究支援講座

「研究成果を分かりやすく伝える効果的なプレゼンテーション」

富澤 弥生氏（東北福祉大学 健康科学部 保健看護学科）

●一般演題

【開催日時】 令和2年11月28日（土）10:00～16:00

【会場】 フォレスト仙台（仙台市青葉区柏木1丁目2番45号）

【演題申込期間】 6月1日（月）～6月22日（月）

【参加申込期間】 10月1日（木）～10月27日（火）

2020（令和2）年度 認定看護管理者教育課程セカンドレベル開催のお知らせ

2020年9月1日より、セカンドレベルを開催します。「看護管理者として基本的責務を遂行するため必要な知識・技術・態度を習得する」ことを目的とした189時間の新カリキュラム研修です。内容は6科目で、ヘルスケアシステム論Ⅱ、組織管理論Ⅱ、人材管理Ⅱ、資源管理Ⅱ、質管理Ⅱ、そして統合演習Ⅱです。新カリキュラムの特徴は地域連携を理解するための他施設実習があり、その施設は自分で選定します。また演習時間が増えグループダイナミクスが活性化します。前回の受講者から「大変だったけど、それ以上の学びがあった。もっと早く受講し運営に活かしたかった。同じ職位が多く、交流が深まり強いネットワークができた。実習では外に出てみて連携の重要性がよく分かった。」等の感想をいただきました。受講の皆様が一番苦心されるのは、看護管理実践計画を作成する統合演習です。応募時的小論文は、この統合演習と連動しますので、看護サービス上の課題で論述されることをお奨めします。応募締め切りは、**6月5日（金）**です。多くの方のご参加をお待ちしております。

報告 令和元年度 かかりつけ医で働く看護職の研修の報告とご連絡

○4地域（仙台・大崎・石巻・県南）で開催：

10月5日（土） 宮城県看護協会会館・看護研修センター

10月10日（木） 石巻市保健相談センター

10月17日（木） 大崎市図書館

10月24日（木） 柴田・角田地域訪問看護ステーション

○受講者数：合計153名

○テーマ：クリニックに特化したリスクマネジメント

.....ご連絡.....

昨年、受講者の皆様から自施設で取り組んでいる医療安全に関する取り組みを任意で提出をしていただきました。それを項目ごとにホームページに掲載しております。他施設の取り組みをみていただき自施設の取り組みへの参考にしていただければと考えました。

是非ご活用ください。ご連絡が遅くなりましたことをお詫び申し上げます。

「安全確認のために
お名前お願いします」



参考文献：医療事故情報収集事業公開データ、医療安全全国共同行動 行動目標

医療安全情報 レポート

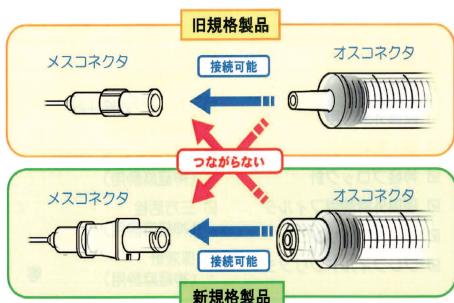
A circular orange graphic with a dashed border. Inside, the text "Vol. 27" is written in a large, stylized, orange font. The "o" in "Vol." and the "2" in "27" are replaced by small, white, geometric shapes resembling buildings or windows.

働くみんなの医療安全

～接続防止コネクタに関する国際規格の国内導入が順次始まります～

「相互接続防止コネクタに係る国際規格（ISO（IEC）80369シリーズ）：「神経麻酔」「経腸栄養」「四肢のカフ拡張」「呼吸器システム・気体移送」「泌尿器」の分野において段階的に誤接続防止コネクタが国内導入されます。旧規格と新規格は接続ができなくなります。情報を確認の上、安全に新規格製品に移行できるよう準備をしましょう。

旧規格製品と新規格製品は接続できません

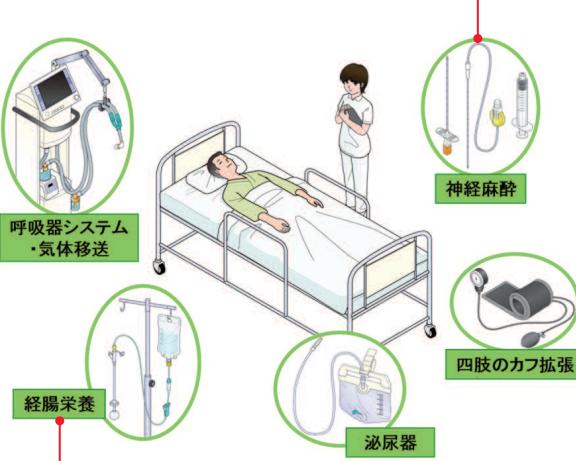


施設内での以下の対応をお願いします

- ◆新規格製品導入責任者の決定
 - ◆各分野の対象製品リスト作成
 - ◆販売業者等と情報共有し、切り替え方法、スケジュールを検討
 - ◆関係者に説明会を実施
 - ◆旧規格と新規格が混在しない管理

誤接続防止コネクタ 国際基準の対象となる医療機器について

2020年2月で
旧規格の販売終了



2021年11月で
旧規格の販売終了

※PMDA日本医療機能評価機構に掲載されています。一度ご確認ください。
独立行政法人医薬品医療機器総合機構のウェブサイト(<http://www.pmda.go.jp/>) 参照

会員登録

わたしのとっておきリフレッシュ方法

私は看護師として働き始め2年目を迎えますが、同じように2年目となるもののがもう一つあります。それは病院のよさこいサークル「チーム踊踊（ようよう）」としての活動です。参加しているのは他部署の新人から中堅まで様々な職種のメンバーが多く、普段の業務では関わらないような方とも交友を深めることができます。業務終了後に集合し、メンバーみんなで汗を流しながら和気あいあいと練習しています。主な活動内容は院内行事、地域行事、近隣の介護施設でのよさこい演舞披露、年に一度福島県郡山市にある本院で行われる「よさこいソーラン大競演会」への参加です。特にこの「よさこいソーラン大競演会」は、昨年優勝したということもあります、二連覇に向けて、より一層力を入れて練習に励んでいます。同じ病院内の活動でも業務との区切りをしっかりとつけ、気持ちを切り替えて参加しています。よさこいの活動中は普段出せないような大きな声、激しい動き、かっこいい決めポーズなど業務中とは異なる自分を出すことが出来るので、ストレスの発散にもなっています。週に数回、汗をかきながら全力でよさこいを踊る事、これが私のとておきのリフレッシュ方法です。



宮城県
ナースセンター
からのお
お知らせ

ナースセンターでは、宮城県看護協会が宮城県より指定を受け、看護職員の定着・確保に関する事業を行っています。主として未就業者の就労促進（ナースバンク）、復職支援、離職防止対策、看護の心普及啓発等の事業を行っています。

看護学生・未就業看護職のみなさん



「病院就職ガイダンス」開催延期のお知らせ

看護学生・未就学看護師等を対象に開催している「病院就職ガイダンス」は、新型コロナウィルスの感染予防のため開催延期となりました。開催日が決まり次第改めておしらせします。

今年度は、来場者の利便性を考え仙台駅周辺の予定です。

2020年度 ハローワーク移動相談

下記ハローワークで看護職の巡回就業相談会を開催しています。

復職したいが心配な方、子育てとキャリアアップとの両立に悩んでいる方、次の職場を探そうか悩んでいる方など、看護職の相談員がお近くの会場でお待ちしています。

事前の申し込みは不要です。直接会場にいらして下さい。相談は無料です。

	仙 台	大 河 原	塩 釜	古 川	石 卷
基本実施 予定日・時間	第3木曜日 13:30～15:30	第4火曜日 13:00～15:00	第1火曜日 13:00～15:00	第2金曜日 13:30～15:30	第3金曜日 13:00～15:00
会 場	5階計画紹介コーナー	会議室	2階会議室	3階会議室	3階会議室
5月は中止します。					
6月	18日	—	10日(水)	—	17日(水)
7月	16日	28日	—	10日	—
8月	20日	—	4日	—	21日
9月	17日	29日	—	11日	—

※仙台のみ予約制です。日時・時間・場所は変更になる場合がありますので、相談をご希望の方は、お問い合わせ下さい。

採血技術等復職研修を開催しています

月 日	内 容	時 間	場 所 等
①9月3日(木)～9月8日(火)	講義・演習	9時30分～15時	訪問看護総合センター3階 別日程で連続3日間の病院実習あり
②5月・6月・7月 10月・11月・12月 1月・2月 第2木曜日	採血	13時30分～15時	訪問看護総合センター3階
③7月16日(木)	採血と静脈注射	13時～15時30分	大崎訪問看護ステーション
④8月20日(木)	採血と静脈注射	〃	ハローワーク仙台5階
⑤9月10日(木)	採血と静脈注射	〃	ハローワーク仙台5階
⑥10月22日(木)	採血と静脈注射	〃	柴田・角田地域訪問看護ステーション
⑦11月6日(金)	採血と静脈注射	〃	宮城県石巻合同庁舎201会議室

相談窓口について

月曜日～金曜日 9:00～18:00 ※但し、年末年始は除く



申込・問合せ先

宮城県ナースセンター

〒981-0933 仙台市青葉区柏木2丁目3番23号

TEL 022-272-8573

キャリナースは
看護協会会員の皆さま
専用のWEBページです。



ユーザー登録すると会員情報の確認や変更、研修受講履歴の閲覧が可能になります。また文献検索や各種資料など看護業務に役立つ魅力的なコンテンツもご覧いただけます！

キャリナースとは？



キャリナースにログイン

メールアドレス

パスワード

ログイン

※ パスワードを忘れた・または変更する場合は再度「マイページ登録」をお願いします。

キャリナースでは…

- 会員登録情報の確認・変更申請
- 看護協会主催研修の受講履歴の確認
- 電子会員証の表示
- 最新看護索引webのご利用
- 各種資料の閲覧

等々のコンテンツがご利用いただけます。
ぜひご登録下さい。

※ご登録には、会員番号と免許番号が必要となります。
URL : <https://kaiin.nurse.or.jp/members/JNG000101>
(スマートフォンでもご利用いただけます)



2020年度会員総括表

2020/4/15現在

支部名	保健師		助産師		看護師		准看護師		計	
	会員	新会員	会員	新会員	会員	新会員	会員	新会員	会員	新会員
仙南	32 (1)	0 (0)	33	0	557 (39)	2 (0)	21 (2)	0 (0)	643 (42)	2 (0)
岩沼	11 (0)	0 (0)	58	0	725 (74)	0 (0)	11 (0)	0 (0)	805 (74)	0 (0)
塩釜	11 (0)	0 (0)	26	0	365 (23)	4 (0)	12 (0)	0 (0)	414 (23)	4 (0)
大崎	38 (1)	0 (0)	28	0	859 (45)	3 (0)	66 (0)	1 (0)	991 (46)	4 (0)
栗原	16 (0)	0 (0)	7	0	320 (11)	1 (0)	8 (0)	1 (0)	351 (11)	2 (0)
登米	10 (0)	0 (0)	3	0	205 (12)	0 (0)	3 (0)	0 (0)	221 (12)	0 (0)
石巻	15 (0)	0 (0)	38	0	947 (67)	7 (2)	76 (6)	2 (1)	1,076 (73)	9 (3)
気仙沼	14 (0)	0 (0)	10	0	171 (12)	0 (0)	8 (1)	1 (0)	203 (13)	1 (0)
仙台・黒川	33 (3)	0 (0)	84	0	1,591 (107)	9 (3)	61 (3)	0 (0)	1,789 (113)	9 (3)
仙台北	46 (4)	0 (0)	145	0	2,088 (205)	1 (0)	20 (4)	1 (0)	2,299 (213)	2 (0)
仙台南	25 (1)	0 (0)	118	0	1,619 (94)	3 (0)	41 (0)	0 (0)	1,803 (95)	3 (0)
仙台東	7 (0)	0 (0)	64	0	1,067 (72)	39 (4)	15 (1)	0 (0)	1,153 (73)	39 (4)
県外	1 (0)	0 (0)	2	0	11 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	14 (1)	0 (0)
合計	259 (10)	0 (0)	616	0	10,525 (762)	69 (9)	342 (17)	6 (1)	11,742 (789)	75 (10)

() は男子再掲



新型コロナウイルス感染症が拡大し、緊急事態宣言が発令されるなど不安の大きいなか、皆様の施設においても対応に大変ご苦労されていることとお察し致します。収束をむかえるにはまだまだ時間がかかりそうですが、現場で活躍する看護職の皆さん、ご家族の皆さんも健康に留意しあ過ごしください。

(広報委員一同)

看護みやぎ 第149号 令和2年5月1日発行 公益社団法人 宮城県看護協会 発行責任者 石井 幹子
〒980-0871 仙台市青葉区八幡二丁目10番19号 TEL.022-273-3923 FAX.022-276-4724
ホームページアドレス <http://www.miyagi-kango.or.jp/>